広報富士川

5月号

編集　富士川町役場内庶務課広報係
静岡県庵原郡富士川町
発行人　助役　中川国兵
電話　岩渕 3・120・127
印刷所　望月印刷所　電話　岩渕 304

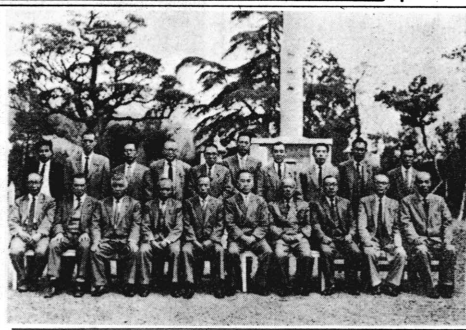
町の現況

面積		31.09km²
人口	38.5.1現在	14.186人
男		7.059人
女		7.127人
世帯数	38.5.1現在	2.837世帯
有権者数	38.4.28現在	8.520人
町議会議員		18名

新町議会議員決る

四月三〇日町民の審判が下され、新たに四年間もの長い間、町政の審議をしていただく、新町議会議員一八名が誕生した。五月一日には、町選管委員長より当選証書が授与され全議員とも喜び満ちあふれていた。

一週間の選挙戦を振返えつてみると、各候補者ともポスターを掲示、それぞれの地区の地盤固めに、又街頭などで町政諸問題を住民に訴えていた。激戦地の東町では各候補者ともさかんに舌戦に火花を散らしていた。



さて問題の選挙違反ですが、今年の三月に、社会教育委員会、公明選挙推進協議会などが、各部落を巡回し、公明選挙運動の座談会をし、また、町の広報では毎朝夕、公明選挙の歌を放送し、町選挙管理委員会においても、候補者と予定者又はその責任者、選挙関係者、また町各団体の代表者の参集を願い、地方選挙公明化説明会が開かれ、〃町ぐるみで公明選挙を〃と、参会者一同が宣言をした。この盛り上がりの効果があり、幸い選挙違反は微々たるもので終つたが、なお今後行われる選挙にはなお一層〃選挙の公明化〃を進めていかなければならないことを痛感した。

新議員の顔ぶれと住所、職業、年令は次のとおりです
（番号は議席番号、敬称略）

氏名	住所	職業	年令
①若月清	川坂	農業	54
②石川均	道上	〃	61
③望月文吾	根方	雑貨商	48
④二又川海造	原方	農業	56
⑤斎藤六郎	旭町	菓子商	54
⑥望月亀歳	東町一	農業	43
⑦坪内佐吉	本通四	請負業	59
⑧斎藤昌巳	東町二	〃	30
⑨森中重雄	四十九	農業	53
⑩深沢省吾	坂下	食堂経営	58
⑪宇佐美賢治	大北	雑貨商	59
⑫芦川守正	木島	農業	42
⑬古川喜代松	宮町	建築業	62
⑭若月幾太郎	堺町	農業	65
⑮佐野義策	平清水	〃	66
⑯太田義雄	東町二	会社員	37
⑰渡辺忠作	本通二	農業	64
⑱高岡文夫	清水	〃	46

町議会議員選挙結果

去る四月三〇日、町議会議員の任期満了により統一地方選挙が行われた。

二三日は告示開始の日で朝八時三〇分までには、十七名の予想された顔ぶれがそろい、午前中には、定員の一八名となつた。さらに二六日に一名が届出を行い一九名となり、選挙戦に入つた。

投票当日、どんよりとした天候がきになつたが、一日もち、朝の投票所受付開始時間七時には、各投票所とも行列をつくつた。

午前九時現在の投票率は三五・一％と前回町議選（昭和三四年）よりも上まわつた。

なお、結果は次のとおり

投票総数	八〇二〇名
投票率	九四・一％
有権者総数	八五二〇名
有効投票	七九五六票
無効投票	六一票
（内あん分一八票含む）	
有効無効の計	八〇一七票
不足	三票
法定得票数	一一一票

各候補者の得票数

区分	順位	氏名	得票数
当選	一	古川喜代松	六一二
〃	二	坪内佐吉	五八五
〃	三	深沢省吾	五七八
〃	四	芦川守正	五二二
〃	五	太田義雄	四六八
〃	六	森中重雄	四五六
〃	七	渡辺忠作	四四六
〃	八	石川均	四四三
〃	九	高岡丈夫	四一六
〃	一〇	宇佐美賢治	三九三
〃	一一	斎藤昌巳	三九二
〃	一二	佐野義策	三八六
〃	一三	望月亀歳	三七三
〃	一四	二又川海造	三六九
〃	一五	望月文吾	三四九
〃	一六	斎藤六郎	三三八
〃	一七	若月幾太郎	三〇六
〃	一八	若月清	二八〇
次点	一九	森木善吉	二四一

また、投票率は前回町議選が九五・五％で今回はそれを一・四％下まわつた。

県議選結果

四月一七日施行された、県議会議員選挙で庵原郡では定員一名のところ二名立候補し結果は次のとおり。

町有権者数	八六六二名
町投票者数	七六〇三名
町投票率	八七・八％
郡投票率	八八・九％

町の開票状況

有効投票数	七五四〇票
無効 〃	六三票
佐藤一郎	三〇四一票
望月良雄	四四九九票
計	七六〇三票

庵原郡（1―2）
当 一三二七五 佐藤一郎 自現
一二三六九 望月良雄 無新

議長に若月幾太郎氏

町議会臨時会、改選後初の第一回町議会が、新議員決定後五月八日、午前九時より町長が召集し、役場会議室で全員出席のもとに開催された。

記念撮影の後、会議に入り、町長の開会の挨拶がなされ、提出議案の説明の後議席の決定がなされた。

提出議案と、その内容は次のとおり、（敬称略、人員は定数を表す）

◎町議会議長（一名）
若月幾太郎

◎町議会副議長（一名）
望月文吾

◎都市計画審議会地方委員（三名）
石川均　渡辺忠作　斎藤六郎

◎富士川町蒲原町富士川水防組合会議室議員（四名）
古川喜代松　望月亀歳　宇佐美賢治　斎藤昌巳

◎国民健康保険蒲原町外二ケ町組合会議員（四名）
若月清　渡辺忠作　深沢省吾　若月幾太郎

◎蒲原町富士川町隔離病舎組合会議員（五名）
二又川海造　芦川守正　望月文吾　斎藤六郎　佐野義策

◎富士川町外二ケ町衛生処理組合会議員（七名）
太田義雄　望月亀歳　深沢省吾　斎藤昌巳　斎藤六郎　若月幾太郎　望月文吾

◎県道富士宮由比線道路組合会議員（四名）
石川均　高岡文夫　宇佐美賢治　佐野義策

◎富士宮市外三町伝染病院組合会議員（二名）
森中重雄　斎藤六郎

◎監査委員（議会選出一名）
太田義雄

◎臨時出納検査立合人（二名）
二又川海造　古川喜代松

◎国民健康保険運営協議会委員
▼被保険者を代表する委員（四名）
望月喜久郎　宇佐美晴雄　望月年春　浦田富雄
▼国民健康保険医又は、国民健康保険薬剤士を代表する委員（四名）
金指恭三　田辺次郎　立花平次　田中ひで
▼公益を代表する委員（四名）
森中重雄　高岡文夫　深沢省吾　斎藤昌巳

◎奨学金審査委員会委員（四名）
若月清　坪内佐吉　望月文吾　若月幾太郎

◎常任委員会委員及び、特別委員会委員
▼総務常任委員会（六名）
委員長＝若月清　委員長代理＝森中重雄　石川均　二又川海造　古川喜代松　太田義雄
▼建設常任委員会（六名）
委員長＝渡辺忠作　委員長代理＝宇佐美賢治　芦川守正　坪内佐吉　高岡文夫　望月亀歳
▼厚生常任委員会（六名）
委員長＝深沢省吾　委員長代理＝斎藤六郎　若月幾太郎　望月文吾　佐野義策　斎藤昌巳
▼富士見橋線特別委員会（八名）
若月幾太郎　渡辺忠作　若月清　坪内佐吉　宇佐美賢治　太田義雄　斎藤昌巳　望月亀歳
▼新幹線専門委員会委員（八名）
深沢省吾　渡辺忠作　坪内佐吉　森中重雄　若月清　若月幾太郎　古川喜代松　望月亀歳

◎高速自動車道路専門委員会委員（一三名）
委員長＝望月亀歳　副委員長＝芦川守正　副員長＝深沢省吾　古川喜代松　森中重雄　若月幾太郎　若月清　渡辺忠作　斎藤六郎　坪内佐吉　太田義雄　斎藤昌巳　望月文吾

◎固定資産評価審査委員会委員（三名）
雨宮周二　芦川利一　鈴木富治

野間家頌徳碑建立

五月一八日、午後二時より講談社々長野間省一氏はか野間家の関係者、町内各種団体代表八十余名が集り町立図書館北側に建立された頌徳碑の除幕式が挙行された。この頌徳碑は、野間家の今日までにおける町教育文化施設のため寄附された。第一中学校、図書館、公民館等の敷地六、二〇七坪の土地並びに戦時中食糧窮迫打開のため大平山他の開墾地一四、四八三坪を十数年に亘つて町民に無償貸与し、更にその大部分を農地として開放されたその功績を永く伝えるため、町議会の協讃を得てつくられたもので、碑文は二九四字から成り、題字は、静岡市在住、冲六鵬先生の書により当町岩渕太田石材店によつて刻まれたものである。

むし歯を予防しよう　早く治療を

六月四日から一〇日までは「歯の衛生週間」である。この週間に当たつて、むし歯の予防と未処置のむし歯の早期治療を働きかけ、また行いましょう。児童・生徒がむし歯にかかる率は年々増加し、その多くは、未処置のまま放置されているそこでむし歯の発生を未然に防止するとともに、治療の徹底を期することが望まれる。

◆むし歯の治療を受けないままにしていないか、受けていなければ受けるようにする。

◆毎日、食後に歯の清掃を実行しているかどうか。

◆正しい歯のみがき方を習慣づける。

▽役場ニュース△

◆**役場衛生課新設**

四月から民生課より分かれて、新たに衛生課が設置され、主任の風間清治氏が課長に任命された。

富士川町外二ケ町で新たにできた衛生プラントが衛生課の管轄となり業務は、衛生係、国保係、清掃第一係（ゴミ処理）清掃第二係（し尿の収集）となつている

◆**電話交換台設置**

事務能率促進のため、役場に新しく自動交換台が設置され、いままでの電話による混乱が緩和された。

従来は局線三本で電話機数九個でしたが新しく設置されたのは局線は従来どおり三本ですが、局線五本迄収容できる交換台と、内線電話機数を二十二個に増加した。

お知らせ欄

▼民生課より―

福祉年金を受けている皆さんへお知らせ

福祉年金の支給はお受けになりましたか、まだ支給を受けていない方は郵便局窓口で受けて下さい。

なお、九月からの年金を受けるために至急所得状況の届をしなければなりません。手続きは役場民生課に国民年金証書と印かんを持参してください。

▼清水税務署から―

「近づきやすい税務署にすること」をさらに具体的に推進するため新たに「税の相談日」を設けた。

実施要領

◉毎月三回、5の日（日曜の時は翌日）を「税の相談日」として開催する。

◉税務相談は匿名相談とする。

◉相談日には、特別の受付けを設け、できれば事務室とは別に相談室を設ける。

◉相談は、係長以上また法令に精通している者、署長も適宜の応接を行う。

◉回答する場合には、法令上の根拠、事実認定に際し問題となる点など明確に教えるとともに、納税者にとつて有利な事項を知らす。

◉地方税の相談に対しては地方税当局の相談窓口を適切に教える。

▼商工会より―

商工会の珠算検定試験要綱は次のとおりです。

◉主催、県商工連合会、全国珠算連盟共催、県教育委員会後援

◉開催日時、年三回
次回　七月一四日（日）
受付　五月一六日から五月一三日まで

◉試験場、商工会所在地（そのつど発表）

◉級別、一級から八級
一〜二級（乗算、除算、見取暗算、見取算、伝票算）
三級（乗算、除算、見取算、伝票算）
四〜八級（乗算、除算、見取算）

◉合格基準
一〜二級　80点。三〜六級　70点。七〜八級　60点

◉受験料
一級　二百円。二級　百五〇円。三級　百二〇円。四級　80円。五〜六級　70円。七〜八級　60円。

◉合格証　通産大臣、全国商工連合会長連書。

なお、申込み用紙は各学校、商工会にある。

▼広報係より―

広報係が四月より変り、いろいろと町民のみなさんの批判を受けたまわりたく思つています。無線放送、広報富士川に関すること、その他なんでもけつこうです

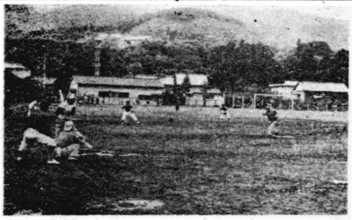
五月の無線放送は、
七・一五　三軍曹マーチ
四・〇〇　からたちの花
八・三〇　フィンランディアの抜萃

みんなでよい環境を作ろう
子供の日―バレー・ソフト大会

最近新聞をにぎわしている記事に誘拐がある。みんなで大さく目を開いて、子供達を魔の手から守ろう。それには、自分の子供も他人の子供も区別なく、世話をやくことが大切だと思う

五月五日、小雨がぱらつく、ぐづついた天気でしたが、富士川地区では、第一公民館において子供会指導者連絡協議会（子供会のお兄さん、お姉さんの会）の主催による「子供の日演芸大会」が開かれた。

芦川清治副会長の挨拶と開会宣言をもつて開始され午前中は、中之郷地区、午後は、木島、岩渕地区、それぞれの子供達にとつて、楽しいひとときを、こども会の歌、こいのぼりやせいくらべの歌を歌い、また、三石（みついし）おじさんの演ずる、影絵劇「亜公さんと狼」「ふしぎな笛吹じいさん」人形劇「みんな仲よし一、二、三」「笑いの風」さらにとつてもおもしろく愉快な童話や、むずかしいがタネあかしをするとだれにでも分かる手品などで楽しく過ごした。入場者は約千名に達し、とても盛大でした。


町ソフトボール大会

簡易バレー練習試合

簡易バレー練習試合
楽しかつたひととき

三日の憲法記念日、休みの日ではめずらしくからりと晴れた良い天気、第一小学校で婦人簡易バレーボールの練習試合が行われました。午後一時の開始時間には、色とりどりの軽快なスタイルで、お母さんがたが集まりファイトで校庭はいっぱいになつた。

参加チームは松野が多く半在家、大北、原方、舟山町、道下、室野、根方、坂下、市場の各チーム。

試合経過は。

準決勝
原方　二―〇　舟山町
市場　二―〇　根方
決　勝
原方　二―一　市場

家庭向バレーボール

◉参加資格…年令に制限なし、但し主婦に限る
◉チーム人員…一チーム八名（うち一名主将含む）
◉コートの広さ…サイドライン（たて）16m、エンドライン（よこ）8m
◉ネットの高さ…2・10m
◉一ゲームの得点：10点
◉セット…三セットマッチ
◉各選手の位置…各選手の位置はサイドアウトのたびに時計の針の方向に動く、
◉サーブの方法…サーブは一度に入れてはならない。サーブを受けて三回以内にパスで相手方に入れる。
◉ネットプレー…競技中ボールがネットにふれたらアウトとする（ネットにふれて入つた場合除く）
◉サーブする者　必ず後術右に位置した者がサーブする。
◉相手からのボールは三回以内のパスで返す
◉ボール…家庭用バレーボールを用いる

ソフト大会　本通三、四優勝

お父さん達（30代、40代）の代表で競いあう第九回ソフトボール大会が、町体育協会の主催で、五月五日午前九時から、第一中および第一小グラウンドで、観衆二五〇名を集めて開始された。雨がしとしとと降り、グラウンドコンディションも悪く、肌寒い天気で選手達をふるいあがらせたが、それにもめげず試合は白熱戦を繰り広げた。当日の参加チームは本通り三・四、本通一・二、旭町、幸町、舟山町、宮町、新町四十九川坂堺町、相生町、小池、坂下、東町、上町の一三チームでした。

同大会七、八回連続優勝の上町チームは、この日あまり芽がでず、相生町に8～5で敗退し、三位に留まつた。宮町も本通り三、四に敗れ三位に。

決勝戦は、午後四時から相変らずしとしとと降る雨の中で開始された。

相生町対本通三、四の対戦である。

相生町チームは前回までのあたりがでず。相手チームの野沢投手に牛耳られ、更に内野チームの充実したワークに手がでずおしくも敗れた。

本通三、四　11対2相生町

婦人会総会で
新役員、計画等決る

四月二四日、午前九時三〇分から町立第一公民館で昭利三八年度婦人会総会が開催され参集人員は五五〇余名におよび公民館をうめつくした。

会長の挨拶の後新役員の発表があり、新たに、土井せつ会長から望月八代氏にバトンが渡された。

会は前役員等に功績をたたえ賞状及び感謝状が贈呈された。つづいて、新会長のあいさつ、事業計画の発表、来賓祝辞等があり、申し合せ事項もなされた。

昭和三八年四月全国婦人大会スローガン、「社会的良心を生かして、婦人は何をなすべきか」町婦人会申し合せ事項「**話し合いの場をもち、すべてに考える家庭婦人となり、生活を豊かにしましよう**」を本年の相言葉とすることを確認した。

住みよい町、良い環境はお母さんたちからと各方面から期待されている。

新役員は次のとおり（敬称略）会長＝望月八代、副会長＝斎藤わき、望月正子、理事＝会計加茂わか、佐野はる子、同＝庶務森中政子、斎藤わき、社会部＝斎藤つね子、天野たま、生活部＝塩坂道子、芦川りつ子、白井梅子、文化部＝田村タカ武下徳子、厚生部＝植松かつ子、井出てい、会計監査＝芦沢とし、田中よし子、顧問＝角替きわ、丸山さと斎藤みち、芦沢とし、中野喜好、佐野はま、秀村コト望月善子、田中よし子、望月とし、錦織秀子、土井せつ。支部長＝芦川梅子、植松はつゑ、望月とみ子、植松みえ、望月まち子、斎藤千代、池谷ふさ、望月のぶ江、簑しま子、加藤恵子、関さい、中川静枝、五十嵐君子、斎藤きよの、芦川うめ、天野百合子、植松律子、石川則子、望月みづゑ、井出ふさ子、渡辺清子、影島初美、清水しげ子、久保田とし枝、佐野とし子、望月のり子、清水育子、石川菊江、稲葉かず子、佐野房江、小林和子、鈴木よし子、村松光子、宇佐美みち、宇佐美恵美子、小川たつ子、風岡幸子、小川しげ子、小川慶子、和泉悦子。

つゆ時の健康管理

これからのつゆ時は、食べ物のくさりやすい季節となるので、できるだけ作りだめをしないようにする。食べ余つて翌日へもちこすような場合には、熱を加えたり、調味料を加えて煮なおしたりする。保存しておく場所も、温度の低い、北向きの風通しのよいところを選ぶことである。

この時期はとくに食中毒をおこしやすく、赤痢、腸チフス、パラチフスなどの消化器係の伝染病が発生しやすいので、日常の食生活に注意する。また慢性の胃腸病や肺結核、神経痛の悪化しやすい時期でもある。健康体の人でも、だるかつたり、食欲がないときには睡眠を十分にとつて、ビタミンAを豊富に含む野菜やくだものを食べるように心がけること。

交通事故をなくそう

春の交通安全運動が、五月一一日から二〇日までの一〇日間実施された。スローガンは、「**こどもを交通事故から守りましよう**」です

この運動の目的は、交通事故をなくし、明るい交通安全県をきずきあげるため県民みずからの手により、それぞれの立場で積極的に運動に参加し交通秩序をうちたてることを主願としている。

仏教会花まつり

おしやか様の降誕を祝う花まつりが、一二日に第一公民館、第二公民館でそれぞれ開かれた。

慶讃法要後、腹話術などの演芸会が、立花さん福一行によつて催された。

この花まつりは、町仏教会が主催したものですが、当日は他の行事と重なり参観者が少なく、来年の行事に期待する声が強かつた。

奥さまメモ

お父さん、お母さんに

じめじめしたいやなつゆがやつてくるのがこの六月とくに、遊びざかりの幼児にとつては、かわいそうな時期です。放つておくと運動不足、睡眠不足、食欲不振などをおこします。そこで、ちよつとした思いやりとくふうをこらしていただいて、この雨の日を利用して、お天気のよいときできなかつた幼児の情操教育をかねて、のびのびと遊ばせることを考えてみましょう

▼**おとうさん**は子供のためのコーナーを縁側のどこかに作つてあげてください。そうした場所のない場合は家具などを少し片づけて、いわば子供の城をくふうしてあげることです。健康な幼児は、静かにしなさいといつても聞くものではありません。幼児にとつては遊ぶことが生活なのです。

▼**おかあさん**がたにもお願いがあります。日ごろからためておいた包装紙や布きれ、ヒモ類、貝がら、空びん、空かんなどを出して、箱の張り替えや、破れた絵本の修繕、人形の着物のつくろいや着せ替え、そのは

町史

当町紙製品の初まり

紙の製法に関しては、推古天皇の西暦七世紀の始めに高麗僧曇徴（どんちよう）によつて伝えられたといわれ、古代は、官営紙業であつたが、時代の進むにしたがい、全国的に製紙業がおこり、「延喜式」によると、各国（四二）から紙の上納がなされている。

この時代は麻紙が主で、楮紙、雁皮紙もあつた。平安中期以降紙屋院の抄紙が衰退し宿紙が主要製品となると地方紙の進出がめだち駿河地方では、鎌倉幕府用の紙とし、駿河半紙（三椏を原料とした縦七寸四分横一尺のものが主）が造られた。

北松野村の紙漉（かみすき）の起源は明らかではないが、江戸中期ごろ発生したと想像され、これは甲州市川大門附近の売紙漉衆のある者が土着して始めたものであろう。

紙漉人については、北松野村三六軒、南松野村数軒木島村一～二軒、中之郷村鍵穴一軒であつた。生産は大体一二月～二月ないし三月頃までの農閑期を利用して行なわれた。原料は、三椏、楮の皮を一日中清流に漂白して、これを石臼でひき、灰汁を入れて釜で煮る釜は二～三貫目位を入れるもので、当時一軒で一日、二釜位を煮たといわれる。

また、年貢納入の不足を補うため行われたので、生産高は一定でなかつた。

人の流れ
（敬称略）

祝結婚

区名	新郎	新婦	旧姓
宮町	浦田銀蔵	照代	望月
本四	渡井和久	文子	中村
小池	浦田隆弘	将子	大沼
新町	杉山道隆	里美	近藤
新町	伊東　勇	久子	鈴木
小山	多芸　仁	克子	長谷川
上町	植松利彦	法子	植松
相生	斎藤督雄	愛子	佐野
上町	斎藤和幸	玲子	小林
幸町	赤司邦久	紀子	占野
本三	斎藤伊杵雄	富士子	花田
旭町	佐野新一	知枝	伊藤
上町	三浦孝章	位枝	宮崎
根方	鈴木久雄	文枝	望月
道下	望月俊一	幸子	斎藤
水口	上野　重	美佐子	望月
大北	田中啓一	政子	田中
平清水	小林正行	アキ子	鈴木

祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄
小池	清　剛裕	堅司	長男
本一	笠井　泉	順次	弐女
宮町	鈴木貴洋	利作	弐男
東二	金指美奈子	国寿	弐女
坂下	植松訓代	久和	長女
上町	斎藤陽子	辰生	長女
四十九	清　誠	富雄	弐男
小山	常盤和弘	喜久雄	長男
坂下	望月雅美	清一	長女
坂下	伏見且敏	益司	長男
原方	望月勝美	洋行	弐男
半在家	神戸邦明	与四郎	長男
新井	望月　充	保男	長男
新井	小林万里子	茂	弐女
平清水	佐野由利子	道定	長女
矢所	佐野正枝	嘉信	長女
大北	鈴木明子	輝夫	長女
大北	安藤利幸	忠吉	長男

転出した人

区名	氏名	転出先
本三	佐藤仁美	富士市
上町	勝呂いま子	沼津市
舟山	斎藤つや子	清水市
小池	藤谷恵子	富士市
上町	斎藤道子	川崎市
道上	蓮池文子	沼津市

祈冥福

区名	氏名	年令
宮町	渡辺春吉	一〇
相生	斎藤松蔵	五二
坂下	池谷しげ	五九
宮町	浦田彦作	七三
本一	片平幸吉	二〇
旭町	大西はる	七五
坂下	滝　しな	七五
根方	佐野せん	六一
清水	渡辺堯之	三七
新井	小林よし	八二